

第1号議案：平成28年度事業計画及び収支予算

平成28年度事業計画（総括）

予算の状況

(単位：百万円)

財源区分	H27予算	H28予算	増減	摘要
島根県	地域振興部	533	469	▲ 64 しまね暮らし推進課
	環境生活部	18	16	▲ 2 N P O推進室
	商工労働部	152	136	▲ 16 雇用政策課
厚生労働省	25	24	▲ 1 若年者地域連携事業	
財 団	67	94	27	
計	795	739	▲ 56	

地域振興部	H27	H28	増減	
	532,810	468,805	-64,005	-12%
ふるさと島根定住推進事業(しまね暮らし課)	524,042	468,805	-55,237	-11%
田舎ツーリズム(地方創生推進経費分)	5,280	20,337	15,057	285%
サイト改修(H27 単年度事業)	33,747	0	-33,747	-100%
隠岐体験旅行(しまね暮らし課より委託)	13,164	10,872	-2,292	-17%
人件費・施設管理費	107,151	107,151	0	0%
上記以外の財団事業費(一般施策経費分)	364,700	330,445	-34,255	-9%
島根の未来実現事業・福祉分野担い手確保	8,768	0	-8,768	-100%

環境生活部	H27	H28	増減	
社会貢献活動促進事業(NPO活動推進室)	17,860	15,777	-2,083	-12%
社会貢献活動促進事業	6,547	4,464	-2,083	-32%
人件費(委託費)	11,313	11,313	0	0%

商工労働部	H27	H28	増減	
若年者雇用対策事業等(雇用政策課)	151,723	136,062	-15,661	-10%
若年者雇用対策事業(ジョブカフェ、インターンシップ)	16,529	12,345	-4,184	-25%
しまね人材確保育成事業(H27 国交付金)	15,140		-15,140	-100%
県外大学生等の県内就職促進		32,240	32,240	皆増
人件費・施設維持(県単)	68,168	71,060	2,678	4%
ジョブカフェサイト改修(H27 単年度)	30,348	0	-30,348	-100%
若年未就業者就職促進(若いしまね人) ※定住	15,242	13,974	-1,268	-8%
高校生・大学生のインターンシップ ※定住	3,618	3,765	147	4%
職業紹介マッチング(人件費) ※定住	2,678	2,678	0	0%

労働局	H27	H28	増減	
若年者地域連携事業	24,995	24,493	-502	-2%

国・県分事業費計	727,388	645,137	-82,251	-10%
----------	----------------	----------------	----------------	------

定住財団	H27	H28	増減	
基金特別会計	67,156	93,646	26,490	39%

合計 **794,544** **738,783** -55,761 -7%

平成28年度の主要事業

1. 「くらしまねっと」「しまね就活情報サイト」運用開始【新規】

※27年度に、開発費64百万をかけて上記のサイトをリニューアル

●リニューアルのポイント

▶島根県内最大級の求人情報を掲載

くらしまねっと <UIターン者求人> 約1800件

+

しまね就活情報サイト <新卒求人> 約300件

+

ハローワーク求人 約5,000件

▶求人企業と求職者の能動的活動を促進【財団】

- ・サイトに訪れた方をメルマガ会員、求職登録会員として資産化
- ・会員に対してメールマガジンを配信し、イベント情報等を効果的に発信
- ・管理画面やメールを活用し掲載企業と連携
- ・無料職業紹介サービスの利用者拡大
- ・サイトデザインを改善し、スマートフォンにも対応

▶企業情報、求人情報を魅力的に発信し、マッチング機能強化【求人企業】

- ・簡単なフォーマットで誰でも魅力的な求人原稿を作成
- ・求人情報をいつでも、何職種でも掲載
- ・企業専用の管理画面で応募者とWeb上で直接やりとりできる
- ・イベントや企業説明会などの情報も掲載できる

▶希望の求人がみつかる【求職者】

- ・希望条件にあった企業がリコメンドで表示される
(履歴等でユーザーを分析し、興味のありそうな情報を選択して表示)
- ・気になる求人に一括応募できる
- ・企業からスカウトメールが届く

■TOPページイメージ



■「しごと」TOPページ



■企業ページイメージ



2. 県外巡回相談事業【新規】～全国50か所で相談対応～

予算額6百万円

(1) 目的

地域間競争が激化していく中において、これまで以上に移住希望者にきめ細やかなサポート体制を提供していく。

(2) 事業概要

- これまで相談会を開催してきた東京、大阪、広島以外の地域で出張相談会を実施し、直接相談できる機会を提供する。
- 求職登録者の多い地域を中心に巡回相談を実施。
- コワーキングスペース等をレンタルし、予約制で個別相談を行う。

〈例〉 ※()は求職登録者数

【関東エリア】神奈川(148)⇒千葉(63)⇒埼玉(71)⇒東京(256)

【関西エリア】兵庫(119)⇒京都(35)⇒奈良(23)⇒大阪(212)

【九州エリア】福岡(27)

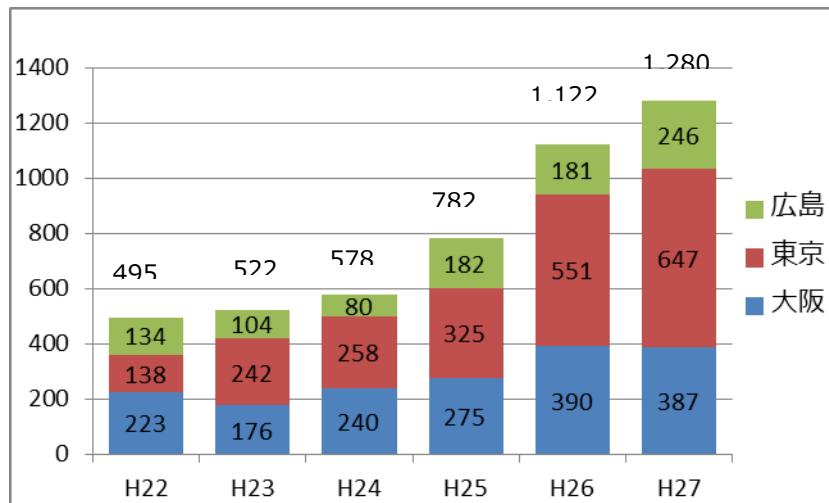
【中四国エリア】岡山(38)⇒山口(18)、香川(12)⇒愛媛(9)⇒広島(196)

【中部エリア】岐阜(8)⇒愛知(56)⇒静岡(11)

【東北エリア】福島(5)⇒宮城(6)

☆参考☆

●H27年度U・Iターンフェア実績



●新規求職登録者数の推移

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
372	399	482	450	444	734	671

※2月末現在

●求職登録者数累計

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
757	850	1,092	1,234	1,336	1,613	1,816

※2月末現在

3. 大学生等県内就職促進事業【新規】

課

ジョブカフェ事業

(1) 目的

県外に進学した大学生等の県内就職を促進する。

(2) 事業概要

県内就職促進に向けての県外における取組として、これまで東京・大阪・広島において企業ガイダンス（企業情報提供）をふるさと鳥取県定住機構と年1回共同開催していた。

来年度以降は、東京・大阪・広島において、①企業との交流セミナー、②合同企業ガイダンス、③合同就職面接会を一連の就職イベントとして開催し、県外に進学した学生を主な対象として県内企業と接触する機会を増やし、県内企業とのマッチング促進を図る。

① しまね企業交流セミナー（東京、大阪、広島）【新規】

島根県内で活躍する企業人との交流セミナーを開催する。

② しまね企業ガイダンス（東京、大阪、広島）各2回【拡充】

企業等の情報提供と交流会をセットにしたガイダンスを開催する。

③ しまね就職フェア（東京、大阪、広島）【新規】

県内企業との就職面接会を開催する。

④ 就活バス運行【拡充】

○広島・大阪の企業ガイダンス、就職フェアで就活バスを運行

- ・山口・岡山 ⇄ 広島イベント
- ・岡山 ⇄ 大阪イベント

○県内就職イベント向けの就活バス運行

- ・広島 ⇄ 松江イベント
- ・岡山 ⇄ 松江イベント
- ・大阪 ⇄ 松江イベント
- ・広島 ⇄ 浜田イベント

(3) 事業費

34,484千円

①しまね企業交流セミナー	6,028千円
②しまね企業ガイダンス（2回）	14,384千円
③しまね就職フェア	6,345千円
④無料就活バス運行	4,835千円
※嘱託職員配置（1名）	2,892千円

4. 地域づくり応援助成事業 ※リニューアル

○これまでの経過

- ・「地域づくり応援助成金」を3年間実施(H25~27)

- ・採択件数

	公益重視型	経済振興型	計
H25	1	9	10
H26	5	5	10
H27	11	2	13
計	17	16	33

○課題等

- ・他団体の同種の助成事業が廃止・縮小されていく中で、当財団の「背中を押す」支援は引き続き必要
- ・助成事業の下限が高く（事業費ベースで60万円）、立ち上げ期の小規模な事業の申請が見送られるケースや事業規模を大きくして申請するケースが見られた
- ・いきなり事業費を拡充して開始するより、最初、少規模の事業でチャレンジし、結果を踏まえて、事業拡大することが望ましい



平成28年度に向けて事業スキームをリニューアル

事業名： 地域づくり応援助成事業

事業概要

	立上げ支援事業	事業化支援事業
対象者	県内のNPO法人、民間団体やグループ (構成員5名以上)	県内のNPO法人、民間団体やグループ (構成員5名以上)、企業等
対象事業	団体の立ち上がり期の活動や新規の活動	新たな事業展開を図る活動 (本格的な規模拡大・グレードアップなど)
助成率	対象経費の2／3以内	同 左
助成期間	1年以内	1年以上2年以内
助成限度額	20万円以上50万円以下	50万円以上200万円以下
申請締切	年2回	同 左
審査方法	審査会（書類審査）	審査会（公開プレゼンテーション）

平成28年度予算額 21,463千円

5. 地域づくり情熱人支援事業【新規】

(1) 背景と目的

○U I ターン者などが地域に入り、地域活性化の担い手として、特産品開発や地域イベントの企画・実施などに取り組むケースが県内各地でみられる。この場合、担い手が十分力を発揮するために、受入側の事業計画や情熱人（活動者）のプラン等が明確になった上でマッチングすることが重要なポイントとなる。

○この事業は、こうした点を踏まえ、地域づくりに取り組む団体が情熱人を確保し、新たな地域活動の創出や更なる地域への波及効果の高い活動を展開することで、必要な経費を確保し、継続的な活動を創出することを目指す。

(2) 事業概要

①対象：U I ターン者、島根在住の若者（45歳未満）

②助成額：情熱人（活動者本人）月12万円（子ども同伴加算あり月3万円）
受入先 月3万円

③助成期間：原則1年間。（起業につながる等の条件により延長あり 最長2年間）

④応募方法：地域づくり団体が候補者を確保した上での応募

⑤その他：地域づくり団体と情熱人との出会いイベントなどを検討
県の東京サテライト、大阪サテライト等との連携を検討

(3) 平成28年度予算額 12,700千円

6. 事業承継支援事業【新規】

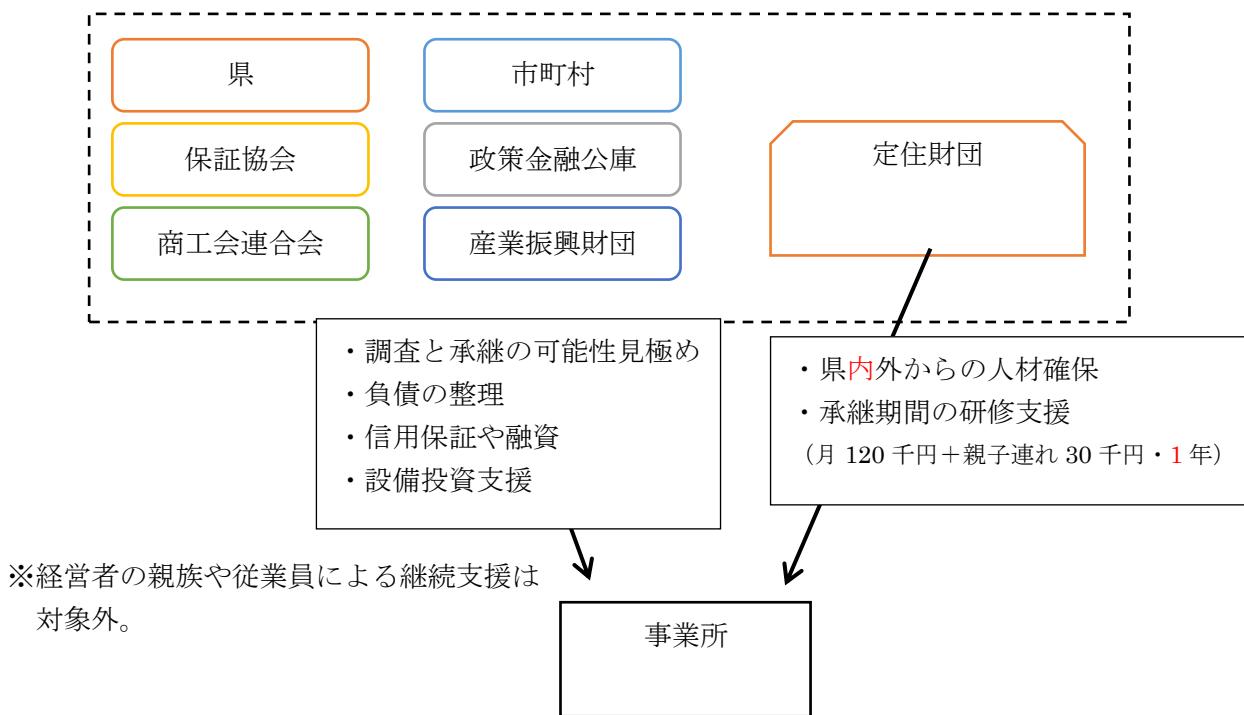
(1)背景

- 県内企業の後継者不在率 72.8% (帝国データバンク)
- U I ターン者等による事業承継可能見込み 490 店舗 (商工会連合会)
- 中山間地域においては、事業主の高齢化に悩む小規模事業所多数
- 減少する事業所の大部分は 4 人以下の雇用規模
- 信用保証協会、日本政策金融公庫、商工会連合会等の企業支援機関連携の動き

(2)課題

- 後継育成には最低でも 1 ~ 3 年の期間を必要とするが、小規模事業所には、この間の人件費負担は困難なところが大部分を占める。
- 事業は継続可能だが体力のない小規模事業所を対象にした支援メニュー、人材のマッチングメニューはほとんどない。

(3)事業イメージ



(4)事業予算 総額 3,600 千円

【内訳】※産業体験事業のスキームを活用

- 事業所継続支援@120 千円 × 12 月 × 2 人 + 親子連れ 30 千円 × 12 月 × 2 人

7. しまね田舎ツーリズム推進事業【拡充】

○しまね田舎ツーリズムは、平成17年から本格的な取り組み開始。以来、平成28年1月の段階で推進協議会への加入数は244団体、また宿泊・調理部会加入施設数は292施設(164団体)を数える。

○地域の価値を高め、発信することで、島根への人の流れを生み出す手法としても効果をあげている取り組みである。

○一方で、実践者の高齢化等による受入先の減少もあり、今後この流れが進むことが危惧される。

○全国的には、子どもの修学旅行、大学の合宿、企業研修等にグリーンツーリズムを活用する動きも増加しており、実践者の事業継続や新たな実践者の掘り起こしの一助となる可能性がある。

○国においては、いわゆる民泊特区や外国人利用促進に関する動きも検討されているところ。

【課題】

- ・こうした団体層をしまね田舎ツーリズムに取り込むには、多数の実践者による受入体制が必要
- ・更に安心して体験できる施設であること、危機管理能力の向上が急がれる（消防法への対応）
- ・若年層にとって魅力あるプログラムの開発が十分といえず、プログラム造成が求められている。

【平成28年度の取り組み】

①プログラム開発・造成【新規】

- ・県内3～5地区を候補とし、誘客及び受け皿づくりの専門家と共に現場をコーディネートしながら、若年層等にとって魅力あるプログラム作成を行う。また、プログラムを検証するために、モニタープログラムを実施し、マニュアル作りやノウハウ習得につなげていく。

②リスクマネジメント研修（安全対策、食品衛生、防災対策）県内各地で実施【拡充】

- ・リスクの分析、評価及び受入準備における留意点、安全・衛生管理など

③農家民宿開業研修（民泊→民宿）県内各地で実施【新規】

- ・グリーンツーリズム推進における農家民宿の位置付け、規制の概要、開業プロセスなど

④施設・体制の強化【新規】 ※所要額37,500千円については財団基金で対応

- ・自動火災報知器設置に係る経費の助成（実践者負担の軽減による施設等存続を支援）

平成28年度予算額 20,337千円

〔しまね田舎ツーリズムキャンペーン2015実施状況〕

エリア	プロモーション数	延べプロモーション数①	催行数②	催行率 ②／①	延べ募集 人数③	参加者数 ④	参加率 ④／③
隱岐・安来・松江・出雲・雲南・奥出雲・飯南	31本	90本	44本	49%	1,278人	417人	33%
大田・美郷	19本	31本	20本	65%	468人	374人	80%
浜田・江津・川本・邑南	59本	101本	79本	78%	1,815人	930人	51%
益田・吉賀・津和野	22本	37本	28本	76%	466人	304人	65%
合計	131本	259本	171本	66%	4,027人	2,025人	50%

島根県しまね暮らし推進課集計

8. 島根の子どもたちの隠岐体験学習事業【継続】

(1) 背景・目的

- 隠岐地域には個性豊かな歴史・伝統・文化や独特の生態系、国賀、赤ハゲ山、ローソク島の絶景など島根の子どもたちに郷土のすばらしさを学んでもらうための貴重な資源が豊富にある。
- しかし、本土の子どもたちが距離的にも時間的にも遠い隠岐地域に行く機会は極めて少ない。
- このため夏休みを利用して、島根の子どもたちが隠岐の魅力を知り学ぶ機会や本土と隠岐の子どもたちとの交流機会を提供することにより、ふるさとを愛する心を育み、将来を担う子どもたちの育成を図る。

(2) 実施時期

前半日程 平成28年7月下旬（2泊3日） 島後・島前コースの2コース実施
後半日程 平成28年8月上旬（2泊3日） 島後・島前コースの2コース実施

(3) 募集人数

前半・後半日程 各50人の計100人（島後・島前コースで各25人ずつを想定）
本土の子ども枠80人、隠岐の子ども枠20人

(4) 対象学年

小学5年生、6年生（隠岐の魅力発見隊など参加意味を持った募集）
参加児童に係る実費を負担する

(5) 体験内容（計画）

- 自然体験 海あそび、海釣り
- 自然学習 磯の自然観察
- 文化体験 黒曜石加工体験、すもう
- 食文化体験 活いかさばき、サザエカレー
- ワークショップ、隠岐の魅力発表会など

(6) 平成28年度予算額 10,872千円

(7) 平成27年度実績

	参加グループ	開催日	開催場所	参加児童
第1回	宍道、古志原、朝日、島田（安来）、北三瓶	8/18～8/20	隠岐の島町、海士町 西ノ島町、知夫村	81人
第2回	安来、五十猛、津和野	8/25～8/27	隠岐の島町、海士町 西ノ島町、知夫村	中止 (62人)
代替事業	安来代替分	11/21	安来市	31人
代替事業	五十猛、津和野代替分	11/22	浜田市	18人

※このほか、県内3か所で事業報告パネル展示を実施（2～3月、松江・出雲・浜田）

9. 財団の単独実施事業（基金会計）

（1）「農業・農村はかっこいい！」和歌募集事業（予算額 2,500 千円）

農業・農村はかっこいい”を表現した和歌を広く募集し、優秀作品を表彰・顕彰することにより、都会地の若者や地元地域の方に啓発する。

【平成 27 年度の実施状況】

- ・応募総数：55名／68首
- ・10月24日（土）中山間地域研究センターにて最終審査会及び表彰式を開催。
- ・入賞者9名全員による発表の後、審査（最優秀賞1点、優秀賞2点、秀作5点）

（2）ルネッサンス青年団事業（予算額 1,500 千円）

若者による地域活性化に向けた地域活動の強化や、新規就業者の職場定着を目的として、かつての青年団活動のように職場を超えた交流の場、出会いの場を設ける活動を支援

事業要件：1回の事業につきおおむね10人以上の参加が見込まれるもの

しまね田舎ツーリズムの施設を利用

H26 年度 4 件採択 助成金額 309 千円

H27 年度 17 件採択 " 1,477 千円

（3）若者ネットワーク創出等事業（30歳の成人式の普及）（予算額 1,000 千円）

30歳という節目の年に、様々な考え方を持つ同級生や、起業・転職など何かに挑戦している先輩や後輩等と幅広く交流する場（30歳の成人式）を設けることで、生き方や働き方、故郷等を意識するきっかけとすることを目的とする。

【平成 27 年度の実施状況】

開催費助成とアドバイザー派遣

松江市（1/2 200 人）、雲南市（1/2 120 人）で開催

（4）田舎ツーリズム体制整備強化事業（新規）（予算 37,500 千円）

平成 27 年 4 月 1 日の消防法施行令改正により、田舎ツーリズム民泊施設についても原則として自動火災報知設備の設置が必要となる。



県内の田舎ツーリズム施設では、設備が高価で設置が進んでいないため、体験者の安心・安全という観点から、実践者の火災報知設備設置経費の一部を助成する

（5）シングルペアレントの UI ターン介護人材確保支援事業（新規）（予算 2,000 千円）

市町村が産業体験事業のスキームを活用し、シングルペアレントの UI ターンによる介護人材確保事業を行う場合、UI ターン者が県内で生活するため必要な自動車（中古車）を県内のディーラーから提供してもらうため、ディーラーに対し委託料を支払う。

10. 平成28年度の財団の人員・組織体制

(1) プロパー職員 2名の新規採用

募集期間 H27.12.4～H28.1.8 → 応募数 117名

1次選考(書類選考) 合格者 79名

2次選考(教養試験、作文) 1/24 受験者 61名

面接試験(2/7) 12名

採用2名：男性2名(32歳)、(23歳) ※プロパー職員12名体制

(2) 外部団体への職員派遣の終了

派遣先：移住・交流推進機構(通称：JOIN)

場所：地域活性化センター内(東京都中央区日本橋)

派遣職員：主任 森山 忍(40)

派遣期間：2年間(H26～27年度)

※派遣に伴う人件費等については基金を取り崩して充当

(3) 島根県との職員交流(研修) ※継続

H25年度からプロパー職員をしまね暮らし推進課に派遣

予算や議会など県の重要な仕組みを学ぶ貴重な機会。県と財団の連携強化にも効果大

※しまね暮らし推進課からも財団に1名派遣(継続予定)

(4) 教育庁(学校企画課)との連携 ※継続

H23年度から現職の教員を派遣

学生登録の強化、教員の企業訪問、内定者の研修、就職後の交流会等、
企業と学校・学生をつなぐ役割を果たしている。(定数外)

(5) 事業担当スタッフの増員

H28新規事業に対応するため、スタッフ2名を採用予定

隠岐体験学習事業 1名

県外大学生等の県内就職促進 1名